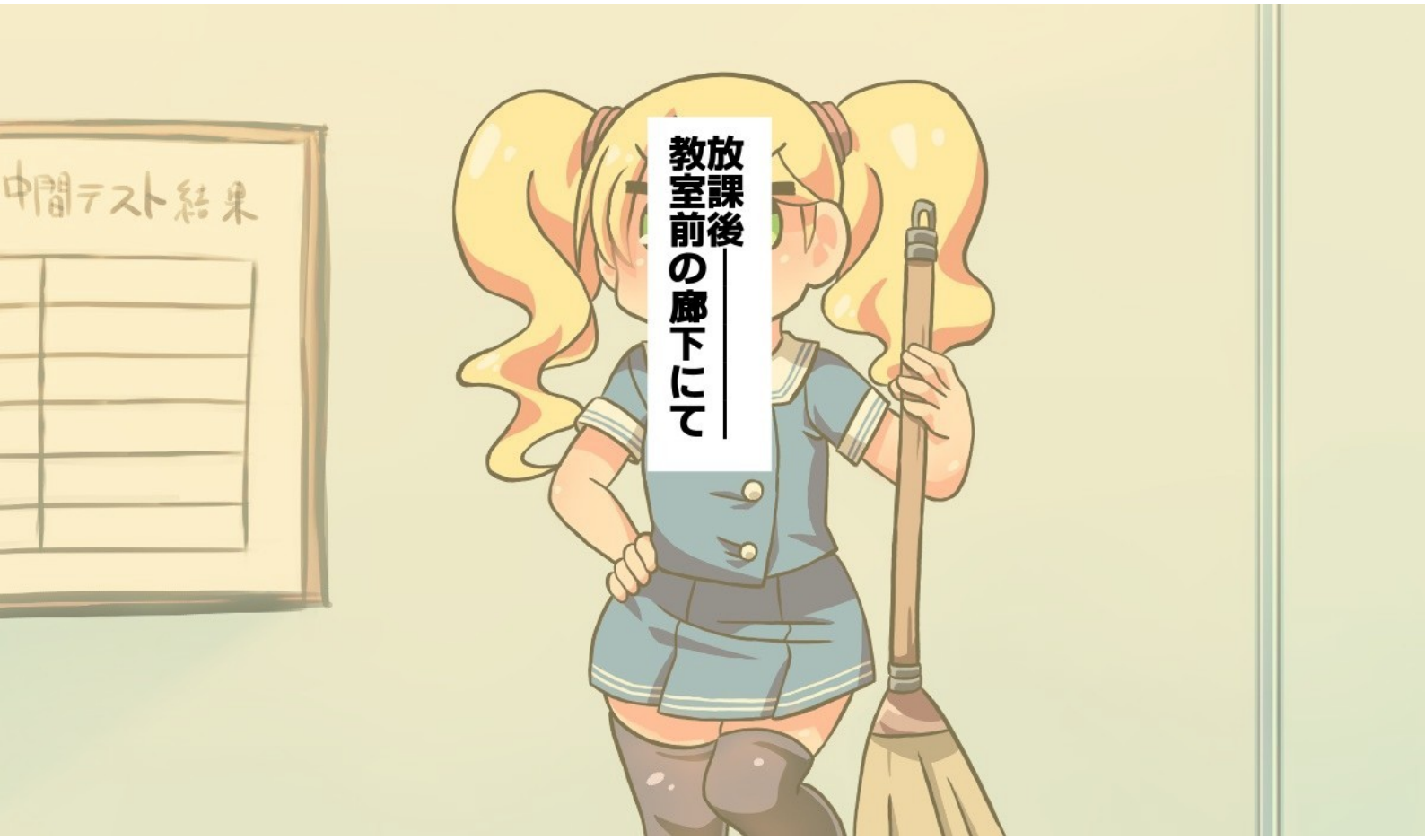
脳突の浮乳
とつぜんのぼうにゅう


中間テスト結果
放課後——
教室前の廊下にて

「ちょっと男子ー!!
サボってないで
ちゃんと掃除してよね!!」

掃除当番の男子たちを
叱りつける女子生徒がいた。
ツインテールを揺らしながら
男子たちに向かって歩いていく。

「なんだよ
そんなに怒ることないだろ
べつに犬して汚れてないし?
掃いても掃かなくても
あんまり変わらないし?」

「ああもう！先生に見つかっても知らないんだからね!!勝手にすれば!!」
口論していると突然彼女の胸元が締めつけるように苦しくなる。身体の一部分がいきなり大きくなって服の中でみちみちと音を立てる。

「あれっ……どうしたんだよそのおっぱい」
「おっぱ……!?ちょっと!!セクハラはやめてよね!!げほっ、あれ、なんか苦しい……？」

「えっ……なにこれ!?
胸が……おっきく……!?」
自身の異常に気付いて動揺する。
ささやかだったはずの乳房が大きく膨らみ
制服を苦しそうに押し上げている。

クラスの平均サイズは余裕で越えていそうな
立派なふくらみがたゆんたゆんと揺れている。
それを見ていた男子たちも動揺している。
目の前の少女が突然
成長期を迎えはじめたのだから当然だ。
「だっ……大丈夫か?
保健室行くか……?」
「おいおい……揺れてるぞ」

目の前で起こる不思議な現象に
戸惑っている間にも
その乳房はむくむくと成長を続けている。
「えっ!?やだっ!!
なにがどうなってるのこれ!?」
彼女が身体を動かすたびに
大きな塊がぷるんぷるんと震えている。

男子たちはその光景に目を奪われて
固まっていた。
ごくりと喉を鳴らし、どんどん大きくなる
彼女の両乳房を見つめて立ちつくしている。

乳房が肥大化するにつれ
みちり、みちりと制服が悲鳴を上げている。
ボタンが少しずつ
内側からの圧迫に耐えられなくなり
壊れる寸前になっている。
制服の中で乳肉が暴れている。
分厚い布の殻を突き破り
外へ出たがっているみたいに
成長を続けている。
「ちょっと、だめ、
胸が、胸が、
出てきちゃだめぇ!!!」
制服が成長を押さえつけようとするが
それでも乳肉は膨らむのをやめず、
ついにボタンは限界を迎えた。
みちっ、とひときわ大きな音を立てる。

ぶちん!!
「んぐうううう〜〜〜〜っ!!?」
大きく膨らみすぎた乳房が
ついに飛び出した。
頭ひとつ分はある巨大な肉塊が
男子たちの眼前にまろび出る。
「うおおぉぉ!!?」
驚愕のあまり男子たちはいっせいに声を上げた。

むくむくむくむくっ!!
なおも肥大化することをやめない乳房は、
制服の檻から逃れてついに外へと転がり出た。
「やだっ、やだぁ!!!」
乳房の成長にともない巨大化した立派な乳首が
ぼろん、と露出する。
乳首そのものも指2本分は
ありそうな大きさだが
乳輪も乳首を埋め尽くすくらいに膨らんでいた。
成長にともない体温が上がったのか
乳房に汗がまとわりついて
女の子の匂いがむわりとあたりに充満する。

「……」
男子たちは巨大な肉塊の圧倒的なビジュアルとあたりに広がる彼女の体臭でオスとしての本能を刺激されて思わず前かがみになりながらぼんやりとその光景を見つめていた。
彼女がほんの少し動くだけでその乳房はぶるんぶるんと大きく揺れている。しっとりとした肌から汗が散る。
「や、やだ……見ないで……」
彼女は恥ずかしさでどうにかなりそうになっていた。

ぞくん、と身体に刺激が走る。
乳房が肥大化する感覚とは別のなにかだ。
身体をびくりと震わせるその感覚は
全身から少しずつ胸の中に集まってきた。
「なっ、なに？
今度はなに!?」
胸の中でなにかが暴れて苦しくなる。
彼女の息が荒くなり頬が紅くなる。
巨大な胸の中で暴れまわる刺激は
じわじわと胸の先端……乳首へと集まっていく。
びくり、と乳首が痙攣したかと思うと
びくり、びくりと震えが止まらなくなる。
「えっ!?
えっえっえっ……やあ、やだ、なに、これ、
んぐぅぅぅ、はぅっ……!?」
全身の神経がすべて
乳首に集まってくるような錯覚を覚え、
空気の流れひとつでも電流が走ったかのように
敏感に反応してしまう。
なにかが、なにかが昇ってくる。

心配した男子たちがなにかを言っているが
彼女はもはやそれどころではなくなっていた。
乳房から乳首に少しずつ
集まってくるその感覚が、
だんだんと実体のあるなにかに変わってゆく。

「ん、っく、
なに……なんか、くる……
んあっ、うぐぅ……はぁっ、はっ……」

乳首の中でなにかが暴れている。
出口をこじ開けて
なにかが飛び出そうとしている。
乳首もそれを必死で食い止めているが、
だんだんと限界を迎えていく。
どんどん胸の中から湧き出すそれが、
勢いよく乳首に向かって集まってくる。
もうだめだ、と言わんばかりに
乳首がひとまわり大きく膨らんだ。

「はっ、はっ、
だめ、もう……だぁ、め……」

「ひぎぅぅ――――〜〜〜〜〜〜っ!!!」
ぶっしゅぅぅぅ――――!!!
ねっとりとした液体が勢いよく噴き出した。母乳だ。どくどくと胸の奥から湧き出してくる。あたりに母乳を撒き散らしながら彼女は射乳だけで絶頂した。
「いぎぅっ!いぐっ!!おっぱい、いっぢゃうっ、これだめぇぇぇぇぇっ!!!」

顔に思いっきり母乳を浴びた男子たちが困惑している。
「ちょ……ちょっと大丈夫かよ」
「ほ、保健室？病院？行こっか？」
「なっ、なにこれっ
なにこれぇ!!
あたしの胸が……
こんなにおっきく……」
射乳を終えた彼女は自分の乳房を確かめるように触っている。
汗まみれになってぽたぽたと母乳を垂らす乳房。
乳首がまだぴくんぴくんと痙攣していた。

「どっ、どうしよう、あたし、こんな胸で、どうすればいいの……」
このクラスどころか学校中、町中、世界中探したってこれより巨大なバストは存在しないのではないか。
彼女は不安になりこれからの生活のことを考えていた。
歩くだけでぶるぶると暴れまわる制御不能の乳房。
視界はむちむちした肌色の肉塊で埋まり、足元なんてとうてい見えたものではなかった。

しかし彼女の心配など気にする様子もなく
乳房はさらに肥大化し始めた。
むくむくむくむくむく……と
みるみるうちに彼女の周囲が
乳房で埋め尽くされる。
「あっ!!あえっ!?
うそ、やだ、
まだ、止まんな……
やだぁ、止まってえぇ!!」
歩くことさえ困難なサイズの乳肉が
たぷんたぷんと波打つ。

「ちょ、ちょっと、やだ、見ないでよぉ……」
巨大化した柔らかな乳肉に釘付けになっていた男子たちが目を逸らす。
「ごっ、ごめん。つい……」
圧倒的なボリューム。圧倒的な汗と母乳の匂い。男子たちにとっては見ないほうが難しいほどにその乳房は魅力的だった。

そうしている間にも乳房は
むくむく、むくむくと肥大化していく。
男子たちを押しのけ、
廊下を埋め尽くすくらいの
巨大な乳布団ができあがったあたりで
ようやく成長が収まった。
「ふ〜〜〜〜っ、
ふ〜〜〜〜っ……
でかすぎでしょぉ、これぇ……」

彼女が体重をかけるたびに乳肉がぼよんぼよんと跳ねる。吸盤のように吸いついてしまいそうなむちむちの肌。汗をかいてしっとりとしている。
乳房全体に敏感な神経が通っているようで少し動いただけでも床にこすれて気持ちがいい。まるで全身で自慰にふけっているみたいだ。
「や、あ、んぁ、やぁ、だめぇ、ヘンになるぅう、んぁ……」

乳房全体の体温が上がってくる。
全身がぞくり、と震え上がる。
先ほども感じたこれは――射乳の前兆だ。
「あっ!!
だめ、だめぇ、
今くるのはだめぇぇ!!」
全身の過敏な神経が乳首の先に集まってくる。
どくん、どくんと胸の中で、
母乳が作られているのを感じる。

どくん、どくん、どくん。
まるで乳房全体が脈打っているみたいだ。
みちみちと内部から母乳が押し上げてくる。
手のひらから感じる弾力が強くなってくる。
乳首がびくびくと震えはじめる。
母乳の流れが次々と先端に集まっていく。

先ほどよりもずいぶんと巨大になった乳首だが、乳房を流れる母乳の濁流はそれ以上に巨大化していた。
びくびくびくん、と乳首が悲鳴を上げる。
「あっ、あ、だめ、また、また出ちゃう!!」
いちど押し広げられた乳首は抵抗力を失い、簡単に口を開ける。
「だめぇぇ――っ!! ぜんぶ出ちゃうぅ〜〜〜〜っ!!!」

ぶっしゅうううう〜〜〜〜〜!!!
「んあああああぁぁぁ!!!
んふううううっ!!!」

びゅるっ、びゅるるるる!!
ぶびゅっ、ぶばぁぁぁ!!
「はうっ、んっ、んくぅ!!
はひっ、あひぃぃぃ!!」
勢いよく噴き出した母乳の奔流が廊下中を押し流す。
ねとねとの体液で床も壁も浸食する。
逃げきれなかった男子たちが母乳に足を取られてすっこける。
「ら、らめ、これ、とまんな、ですぎちゃうぅ、うぐぅぅぅぅ!!」
母乳を噴き出すたびにびくびくと痙攣する身体。
射乳だけで何度も絶頂を繰り返している。

ぶぼっ、ぶぼばばばばば!!!
母乳の勢いはとどまることを知らず、
むしろ量が増えているほどだった。
「はひいいいいっ!!!
ふひっ、ひいいいい!!!」

びくっ、びくん！
彼女の身体が痙攣を繰り返す。
それでもフルスロットルで
母乳を生産する巨大な乳房。
「あひっ、はひっ、ひぃ!!!
も、もう、だめ、
おかしく、なっちゃう、これぇ」

彼女の乳房が生産をやめ
どうにか落ち着きを取り戻したのは
十数分後のことだった。

気付いたときには廊下は母乳の川のようになっていた。
その後彼女は男子たちと共に廊下の母乳を片付けることとなったため、結果的には男子に掃除をさせることに成功したのであった。

おしまい

中間テスト結果

中間テスト結果

中間テスト結果

中間テスト結果

中間テスト結果

中間テスト結果

中間テスト結果

中間テスト結果

結果